2021年7月26日

報道関係各位

＜PRESS RELEASE＞

一般社団法人 日本キャンドル協会

CANDLE JUNE氏、歌舞伎俳優 尾上松也氏、ラジオDJ クリス智子氏らが理事就任

日本キャンドル協会（ＪＣＡ）が新体制を発足！
日本におけるキャンドル文化の普及啓蒙を行う団体へ生まれ変わります。

一般社団法人 日本キャンドル協会（東京都港区、代表理事：金指琢也）は、2009 年の設立以来はじめて体制を刷新する運びとなりました。キャンドルアートの資格スクール事業を軸としたキャンドルを作る・極めることの啓蒙に留まらず、**「日本におけるキャンドル文化の普及啓蒙を行うという理念」**を掲げる団体へと生まれ変わります。
詳細は下記の通りです。

■新体制発足の背景

新型コロナウイルス感染症による国民の心理面への影響を把握するため、イ厚生労働省がインターネット調査を実施したところ、神経を過敏に感じた・そわそわ落ち着かなく感じた・気分が落ち込んで、何が起こっても気が晴れないように感じたなど、半数以上の方が何かしらの不安を感じていることがわかっています。（厚生労働省 新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査 概要・結果①より参照・回収サンプル 10981 名/令和 2 年 9 月 11～14 日実施）

そんな中、炎のあかりとゆらぎによって、「穏やかな心で自己を見つめ直すきっかけになった」「おうち時間が癒しの時間になった」「自然への感謝の気持ちを持つことができた」など、たくさんの生徒様やお客様からの声を頂きました。また、メディア掲載もコロナ前の対比で 230%となりました。

キャンドルがクリスマスや結婚式など特別なときに灯すアイテムではなく、気持ちが不安定になりがちな現代社会だからこそ改めてキャンドルが現代人に癒しとぬくもりを感じて頂くのに必要な役割を担うものと確信いたしました。新体制発足に際し、キャンドルのあるライフスタイルや自然のあかりを通して日本のキャンドル文化を提唱して参ります。

■新体制における事業概要

知る

広報/啓蒙活動

キャンドル文化の認知向上および普及のために キャンドルについて知っていただくための活動

⇨キャンドルにまつわる講演、セミナー
⇨メディアとの連携による広報活動
⇨オウンドメディア「My Candle Life」の発行

学ぶ

スクール運営

キャンドルに関する知識を習得するとともに キャンドル作りをイチから学ぶための活動

⇨キャンドルレッスンの提供
⇨アーティスト育成スクールの運営（資格取得制度の確立）
⇨子供たちに向けた、安心安全に楽しめる学習プログラム

買う 売る

マーケット開拓

キャンドルづくりのための材料販売および 手作りキャンドルを自由売買できる環境づくり

⇨E Cショップ、店頭販売
⇨キャンドル版フリーマーケットの提供

極める

コンテストアワード

キャンドルアーティストの地位向上および プロフェッショナルを育成するための活動

⇨コンテスト（アーティストアワード）の開催
⇨展示会・作品ギャラリーの開催

体験する

エンターテイメント

キャンドルを「灯して」「見て」「作って」 楽しむ等、より身近に感じていただくための活動

⇨全国各地でのキャンドルイベントの開催
⇨キャンドルワークショップの実施運営
⇨日常的な"キャンドルのある空間"の創出・提供

繋がる

企業/団体様との連携

キャンドル（灯す/作る）を通じて相乗効果を 生み出すための活動

⇨キャンドルを活用した企業タイアップ活動
⇨キャンドルを使った空間演出・環境改善サポート
⇨キャンドルを活用した地域活性プロジェクト

■体制一新に伴い、公式ホームページをリニューアル

新しいホームページでは認定校や体験メニューの案内だけでなく、キャンドルにまつわる様々な情報を公開するとともに、より多くの方に“キャンドルライフの魅力”をお届けします。

【 日本キャンドル協会公式ホームページ：https://japan-candle.org/ 】

■主要メンバー・プロフィール

キャンドルアートのパイオニア、「100 万人のキャンドルナイト@オオサカシティ」を企画したプロデューサーなど、キャンドル業界の著名人をはじめ、キャンドルアートと接点の深いフラワーデザインアーティスト、さらには、プライベートでキャンドルをこよなく愛する歌舞伎俳優、ラジオ DJ など、理念にご賛同いただいた著名人を新たに理事としてお迎えしました。

CANDLE JUNE
（アーティスト / フィールドデザイン / ディレクター）

1994 年よりキャンドル制作を開始してキャンドルアーティストとして活動。 「灯す場所」にこだわり様々なフィールドで空間演出を行い「キャンドルデコレーション」のジャンルを確立。2001年、平和活動「Candle Odyssey」を開始し、紛争地や被災地など悲しみの地を巡り、キャンドルを灯す活動を続ける。2011 年、東日本大震災を受けて「一般社団法人 LOVE FOR NIPPON」を発足し支援活動を開始。 月命日の毎月11日に福島各地でキャンドルイベントを行い、3月11日には「SONG OF THE EARTH 311 FUKUSHIMA」開催。 近年は環境問題やこれからのエネルギーを考えるシンポジウムを主催するなど活動の幅を広げ『悲しみから喜びへ』をテーマにしたアクションで新たなる循環の世界 を目指している。

クリス智子（ラジオパーソナリティ / タレント）

幼少期を京都～ハワイ～フィラデルフィアで過ごし、8歳より横浜で育つ。大学卒業と同時に、J-WAVE でのラジオパーソナリ ティをはじめとする活動を開始。平日朝のワイドプログラム 「BOOM TOWN」 を 10 年つとめ、旺盛な好奇心でリスナーとのコミュニケーションを愛し、爽やかな語り口調、明るく快活なトー クやインタビューが定評を得る。現在は、J-WAVEの番組「GOOD NEIGHBORS」「CREADIO」でレギュラーナビゲーターを担当するほか、テレビ番組のナレーション、イベントMC、執筆活動など幅広く活躍中。
自然とともにある生活を愛し、日々、夕方沈む太陽の色をそっと 移すように、キャンドルに火を灯す愛好家。

尾上 松也（歌舞伎俳優）

1985年東京都生まれ。父は六代目尾上松助。1990年、「伽羅先代萩」の鶴千代役にて 二代目尾上松也を名のり初舞台。以降、数々の子役を経験する。近年は立役として注目され、2015年より次世代の歌舞伎界を担う花形俳優が顔を揃える「新春浅草歌舞伎」に出演。2009 年からは歌舞伎自主公演 「挑む」を主宰し、オリジナル公演「百傾繚乱」にも取り組む若手歌舞伎俳優の代表格。歌舞伎以外にも、ミュージカル、舞台、テレビドラマなど幅広いジャンルで活動しており、今年は映画「すくってごらん」で初主演を果たした。
プライベートでキャンドルにハマっており、自宅に100個以上のキャンドルを所有。毎晩火を灯してキャンドルライフを楽しんでいる。

小林 祐治（フラワーデザイナー）

音楽活動後、フラワーデザインアーティストに転身して独学でフラワーデザインを学ぶ。幾何学的なスタイリッシュさと禅的ミニマルデザインがオリジナルテイストとなり探求を続ける。同時に、国内外インターナショ ナルホテルにおける花装飾監修 / 技術指導や、ファッションブランドイベントや大手企業での装飾を多数手掛ける。近年は中国 Park Hyatt Shanghai でのワークショップ、COHIM Flower School 北京にて 特別講師として開講、ベルギー Stiching Kunstboek より作品集「TOKYO FLOWERS」 を出版するなど幅広く活躍中。2011年からは東日本大震災で被災された福島県内にてワー クショップやアートワークを通じて現地交流を続けている。

水口 学（プロデューサー / プランナー）

広告・イベント制作会社に入社し、独自のスタイルを駆使しなが ら主にカルチャー系の展覧会やイベントの企画プロデュース、 商業施設のセールスプロモーションの企画制作ディレクションをお こなう。 CSR・環境ムーブメントなどにも興味を傾ける傍ら、2005 年からは大阪での「100 万人のキャンドルナイト @ オオサカシティ」を企画プロデュース。2016 年に独立し、現在はフリーランスのプランナー・プロデューサーとして活躍中。その素顔は、阪神タイガースと ROCK、そしてキャンドルをこよなく愛するアツくて涙もろい関西人。

金指 琢也（代表理事）

三重県四日市生まれ。ローソクトップメーカーに入社し1995 年よりキャンドル事業部門の立ち上げ に参画。インテリアショップやホテル・レストラン・ブライダル施設を中心に国内におけるキャンドル マーケットを開拓。世界各国のキャンドル市場にも精通し、世界の有名ブランドを日本に広める。キャンドルを “ 灯す ” 素晴らしさを伝えるべく全国各地でキャンドルイベントを行うほか、アロマキャンドルやバスキャンドル、キャンドルリレー等、キャンドルムーブメントの火付け役となる。『初心者にもわかりやすいキャンドルライフ』を提唱しワークショップやセミナー、講演活動を精力的に行う。新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどメディア出演も多数。

野田 明（常務理事）

2016年にローソク国内トップメーカーに入社。業務拡大と盤石な財務基盤確立のため、経営戦略本部長と管理本部長を兼任し、神仏業界初のM＆Aを着手。約１年半で線香メーカーとキャンドルスクール事業企業の計３社のM＆Aに成功。特にリストラや業務縮小など痛みを伴わない合併を行い、加えて1年での黒字転換を果たして業界内外で注目を浴びる。
今回、当社の経営に参画し、事業路線の大幅変更に伴う財務基盤の拡充を担当。みんなと力を合わせて、また新たな成功を目指している。

＜本件に関するお問合せ先＞
一般社団法人 日本キャンドル協会　　PR 事務局： 堀・三浦
TEL：03-5656-1926（090-8563-6981） mail：press@japan-candle.org
※テレワーク中心のため、携帯電話にご連絡いただけますと幸いです。